上尾中央総合病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記のお問合せ先にご連絡下さい。

⇒田 日百 友	ノわ同合で元にこ理給下さい。
課題名	大腿膝窩動脈病変に対する薬剤溶出性バルーンと薬剤溶出性ステントの治療
₩. II # II	成績比較
受付番号	1094
当院の研究責任者(所属)	新谷嘉章(循環器内科)
研究者等(所属)	一色高明、緒方信彦、増田尚己、谷本周三、小橋啓一、鍵山弘太郎、小古山由
	佳子、宮崎至(循環器内科)、飯田修(関西労災病院 循環器内科)
研究期間	2023年2月24日~2025年12月31日
調査データ対象期間	2018年3月1日~2020年6月30日
本研究の目的	大腿膝窩動脈病変に対する薬剤溶出性バルーンと薬剤溶出性ステントの治療
	成績を比較検討する。「大腿膝窩動脈病変を有する症候性閉塞性動脈硬化症患
	者に対する薬剤溶出性バルーンを用いた末梢血管内治療に関する多施設前向
	き研究」と、「大腿膝窩動脈病変を有する閉塞性動脈硬化症患者に対するパクリ
	タキセル薬剤溶出型末梢ステントを用いた血管内治療に関する多施設・前向き
	研究」で収集済みの情報を統合し、薬剤溶出性バルーンと薬剤溶出性ステント
	の1年治療成績を後ろ向きに比較検討する。
対象となる患者さん	調査データ対象期間に、上記の研究に参加した患者さん
利用する試料・情報	一次開存率、標的病変血行再建率、標的血管再血行再建率、外科的血行再建術
	移行率、急性血栓性閉塞、下肢大切断率(大切断の定義;足関節より中枢側で
	の切断)、主要下肢有害事象
試料・情報の他の研究機関	■無し
への提供の有無	□有り()
個人情報の保護に関する情	利用する情報から氏名や住所等の患者さんの特定につながる個人情報は削除
報	します。研究成果は学会や学術誌等で発表する可能性がありますが、その際は
	患者さんを特定できない形で行います。
本研究の資金源	■無し
(利益相反)	□有り()
倫理審査等の経過	第 256 回上尾中央総合病院倫理委員会にて承認
公開日	2023年3月3日
オプトアウト期間	■公開日から 1 か月
	□当該疾患の当院受診日から1か月
お問合せ先	電話番号 048-773-1111 (代表)
	上尾中央総合病院 クリニカルリサーチセンター
	情報管理部・組織管理課 又は 薬剤部・治験管理科